

亡国に導くTPPに反対しましょう

中橋・仏子の交差点の改良、30人程度学級実現を

TPP(環太平洋連携協定)は参加国間の関税をすべてゼロにする取り決めです。

日本が、TPPに参加すれば、農業、医療、雇用そのほか市民生活は大きな打撃をこうむります。

食の安全と震災からの復興に大きなダメージのTPP

アメリカはBSE問題で日本が規制している牛肉の輸入を強要したり、大腸菌のついた冷凍フライドポテトを拒否していることを非難しています。

私は市長に「アメリカの要求通りにこれらの危険な食糧を受け入れざるをえなくなる。市民の食の安全の確保が困難になるのでは」と、質しました。

市長は「政府が説明していないので判断できない」と市長として市民の食を守る見解を全く示しませんでした。

TPPに加盟した場合、米の90%が外国産米に替わると農水省が試算しています。私が「必死に復興を目指している米どころに水をかけるものではないのか」と質問すると「保障が必要」と答弁。私は「保障には1兆円以上が毎年かかる。そんなことは不可能」と主張しました。

中橋の安全確保のため歩行者専用の橋を視野に入れた改良を

仏子と野田をつなぐ中橋は歩道が1.5

メートルと狭く段差が25センチもあり大変危険です。地元からも改善の要望が上がっています。私は「歩行者・自転車専用橋の建設も含めて検討すべき」と主張しました。

事故の多い仏子郵便局近くの交差点の改良を

仏子の郵便局からリバーサイドに抜ける交差点は特に中橋方面から道路が狭く見通しが悪く危険です。近年だけで4件の交通事故が発生しており改善を求めたところ「とりかかっているところである」との答弁を得ました。

豊かな教育環境のために30人程度学級の実現を

小中学校の多くの学級で30人以下になっている例を示し、「全クラスを30人程度学級にし豊かな教育環境を実現すべき」と教育長に質すと「国の責任だ」との答弁。

私は「独自で行っている市もある。入間も進めるべき」と主張しました。

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

市議会つうしん



ごあいさつ・12月議会の一般質問(4P)

No. 11

2012.新春号

亡国のTPPに反対を
中橋の歩道拡幅・歩行者自転車専用橋を
仏子郵便局近くの交差点の改良を
すべての小中学校で30人学級の実現を

2012年こそ転換の年に

昨年のご支援大変ありがとうございました

いよいよ寒さが本格的になってきましたが、お元気でお過ごしでしょうか。

私は、あまり寒さを感じずにおります。自転車に乗っている時、手袋をしなくても乗り出してしばらくすると手に温かい血が流れ込んできて掌が汗ばんできます。

自転車から降りても温かさは持続します。

「地球に負担をかけたくない」という思いで始めた自転車移動が、自家発電暖房という副産物を生みだしました。



そのことを周りにやや自慢げに話すぎて迷

惑をかけているかも知れません。

ともに感じている危険な道路改良のために頑張ります

環境にも良く、体にもよく、懐にも優しい自転車ですが、大きな危険があります。

自転車が走るレーンが車道に確保されていないため自動車がすぐ近くを通り抜けて行きます。いつもとても怖い思いをします。

以前、大型トラックが後ろから来て歩道に逃げようとしたところ(本当はいけませんが)段差で転倒し、腕を骨折しました。

道路改良の必要性を身を持って感じました。

H25年度より埼玉西部消防組合発足へ 12月定例市議会

広域化で市民の安全守れるか

今議会に提出された20議案は全て可決・成立しました。共産党は「埼玉西部消防組合の設立」と「国民健康保険条例の改正」の2議案に反対し、他の議案には賛成しました。

議会開会日には9月議会に提出されていたH22年度決算の採決が行われました。共産党は一般会計と国保・後期高齢者医療・狭山台区画整理の各特別会計に反対しました。

5市(入間市、所沢市、狭山市、飯能市、日高市)の消防組織をひとつにする「埼玉西部消防組合の設立」の議案は、入間市議会では共産党以外の全ての会派が賛成し、

公明党金澤議員の役職等辞任で市議会常任委員長などを再選出

12月議会中に、金澤議員より「委員長などの役職と議会改革特別委員」を辞任する申し出がありました。都市経済常任委員長に友山議員、交通対策特別委員会委員長に宮岡治郎議員、議会改革特別委員会副委員長に宮岡幸江議員が就任し、議会改革特別委員会委員に永澤議員を指名したという議長報告がありました。

可決されました。他4市の議会でも賛成多数で可決され、これでH25年4月から5市の消防広域化が実施されることになりました。

市民不在で消防力低下と負担増

5市の消防がひとつにされると管轄面積は現在の45km²から406km²となり、そのうち44%が山間地域で、職員の負担が増え地理不案内がでる恐れがあります。さらに入間市では、現在2台あるはしご車のうち藤沢分署のはしご車が削減され、「消防力の強化」どころか低下を招きます。

広域化のための協議会は非公開で行われ、市民説明会も周知が不十分で少ない

参加者のなかで行われました。これでは市民の合意を得られたとは言えません。

広域化すると入間市の負担は、5年間で9200万円も増加。県内の自治体で広域化が進んでいないのは、こうした矛盾があるからです。いま求められているのは大災害に備えた消防力であり、地域に密着した自治体消防の強化こそ必要です。



国保の限度額が59万円から77万円の大増に

国民健康保険税の限度額を大幅に引き上げる議案は、日本共産党以外の全会派の賛成で可決されました。

国保税の限度額が医療給付分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分の合計59万円から77万円に、一気に18万円も引き上げられ831世帯に影響がでます。

今回の条例改定は国保の広域化を見ずえたもので、広域化されると更なる保険税の引き上げ、負担増につながります。

この間、国保の収納率は90%以下に落ち込んでいます。国保税が高すぎて払えない世帯が増えるなか、広域化につながる限度額の引き上げは認めることができません。

日本共産党は「長期滞納者をださないよう申請減免制度の改善と、法定減免を現行の6割・4割減免から7割・5割・2割減免に改定して、低所得層を救済する対策こそ急ぐべき」と主張しました。

放射線測定を行います



彩の森公園で放射線量測定をする共産党市議団

日本共産党入間市議団は、市役所と同機種の放射線量測定器(HORIBA APA-1000)を購入しました。

みなさんの要望に応じて測定に出向きます。連絡は下記の共産党議員まで遠慮なくお寄せ下さい。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

基地跡地の留保地問題、スポーツ振興

小出わたる議員

T P P、中橋、仏子交差点、30人学級

安道よし子議員

放射能から子どもを守れ、踏切改修を

日本共産党市議会報告

2012年1月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883